

イーストスプリング・
インド公益インフラ
債券ファンド
(毎月決算型) / (年2回決算型)

追加型投信 / 海外 / 債券

作成対象期間 2026年1月14日～2026年7月10日

(毎月決算型)

第131期 2026年2月10日決算 第134期 2026年5月11日決算
第132期 2026年3月10日決算 第135期 2026年6月10日決算
第133期 2026年4月10日決算 第136期 2026年7月10日決算

(年2回決算型)

第23期 2026年7月10日決算

(毎月決算型)

日経新聞掲載名：インド公益債

第136期末(2026年7月10日)	
基準価額	8,634円
純資産総額	34,055百万円
第131期～第136期	
騰落率	△ 1.4%
分配金(税込み)合計	270円

(年2回決算型)

日経新聞掲載名：インド公益債

第23期末(2026年7月10日)	
基準価額	16,702円
純資産総額	14,087百万円
第23期	
騰落率	△ 1.4%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主としてインドの公益およびインフラ関連の債券に実質的に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング
<https://www.eastspring.co.jp/>

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

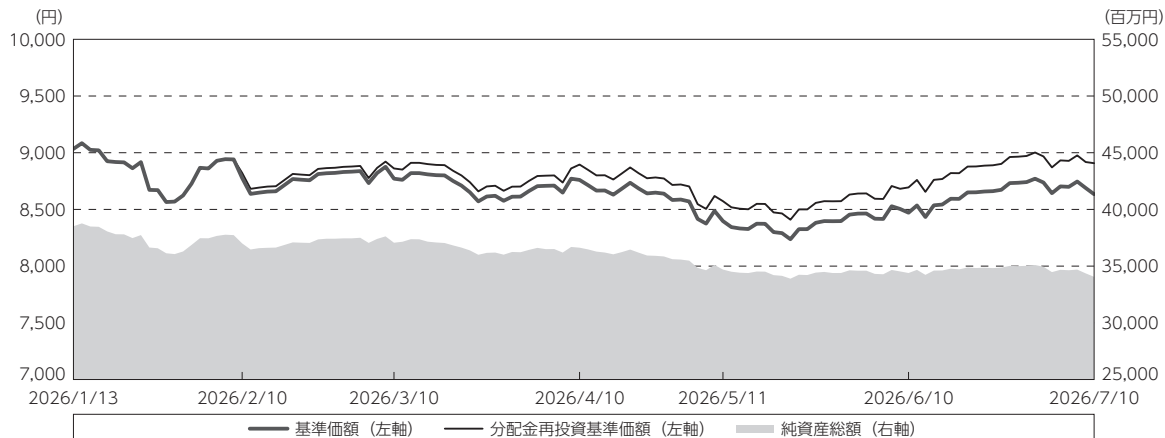
ホームページにアクセス⇒「ファンド情報」を選択⇒ファンド名を選択⇒「目論見書・月報・運用報告書等」の「運用報告書(全体版)」を選択

運用経過

(毎月決算型)

基準価額等の推移について

(2026年1月14日～2026年7月10日)



第131期首：9,034円

第136期末：8,634円 (既払分配金(税込み):270円)

騰落率：△ 1.4% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2026年1月13日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は下落しました

(下落要因)

- ・保有している債券の価格下落。
- ・インドルピーの対円での下落。

1 万口当たりの費用明細

(2026年1月14日～2026年7月10日)

項 目	第131期～第136期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	71	0.826	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(35)	(0.402)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(35)	(0.402)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.021)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.023	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.018)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(0)	(0.002)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(そ の 他 1)	(0)	(0.001)	信託管理事務に係る手数料およびインダの税務代理人に対する手数料等
合 計	73	0.849	
作成期間の平均基準価額は、8,627円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

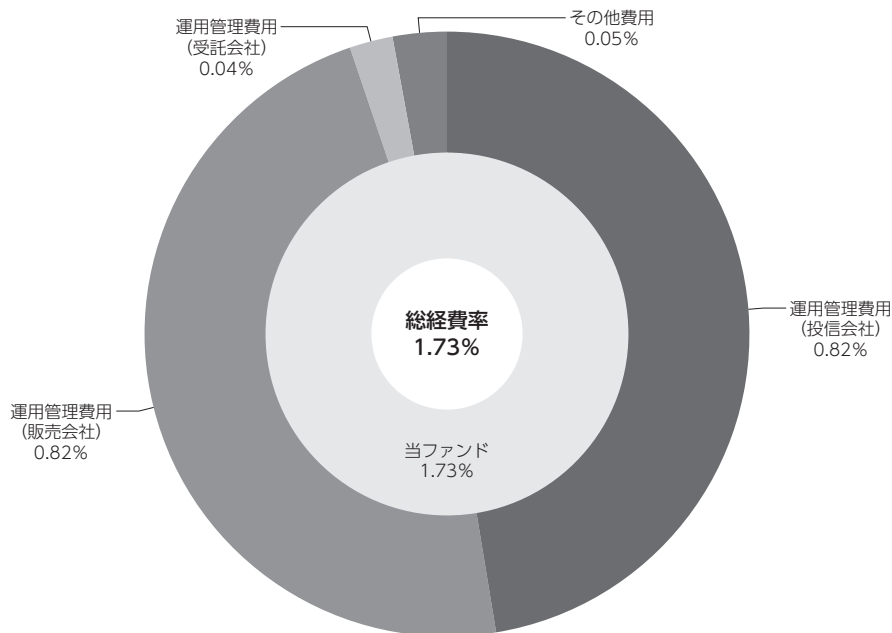
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.73%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

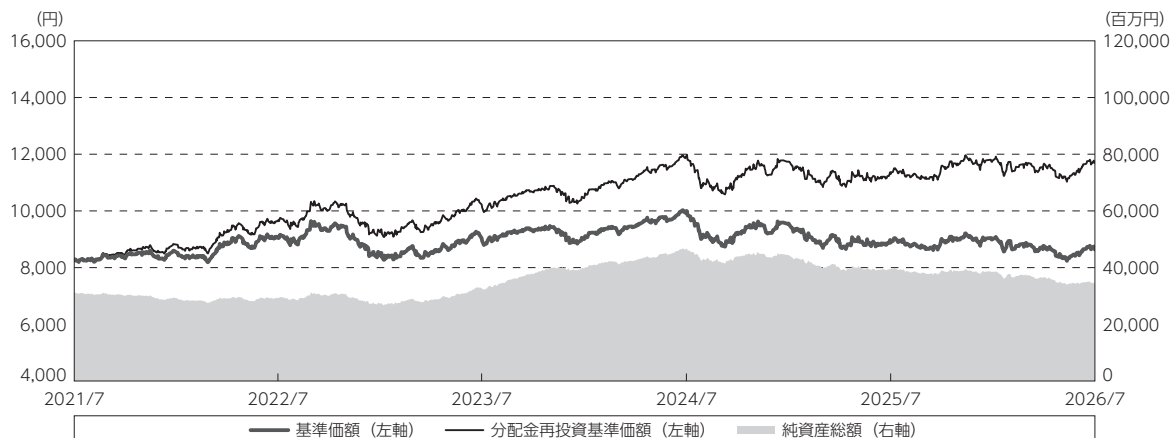
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2021年7月12日～2026年7月10日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額は、2021年7月12日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2021年7月12日 決算日	2022年7月11日 決算日	2023年7月10日 決算日	2024年7月10日 決算日	2025年7月10日 決算日	2026年7月10日 決算日
基準価額 (円)	8,295	9,047	9,039	9,945	8,879	8,634
期間分配金合計(税込み) (円)	—	540	540	540	540	540
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	16.2	6.2	16.5	△ 5.2	3.4
純資産総額 (百万円)	31,241	29,213	32,693	46,486	39,283	34,055

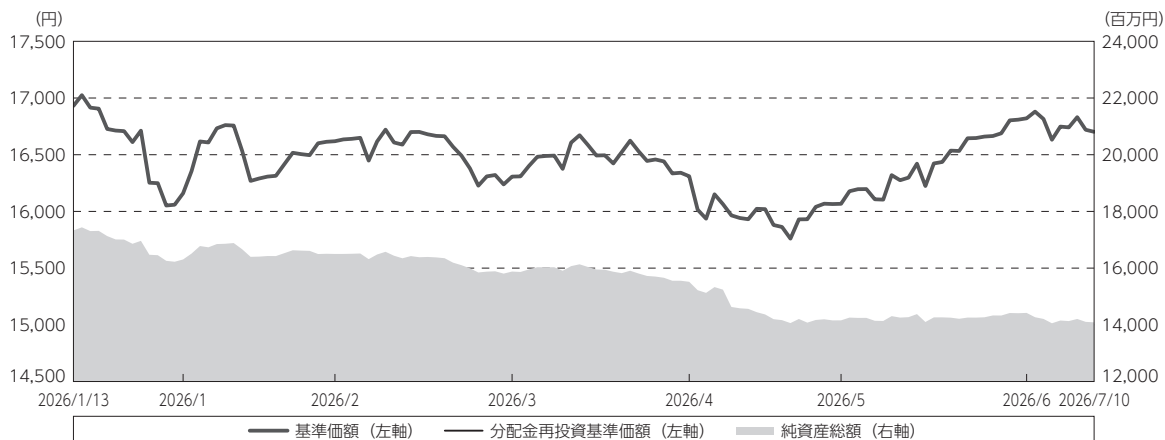
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 (注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

運用経過

(年2回決算型)

基準価額等の推移について

(2026年1月14日～2026年7月10日)



期 首：16,931円

期 末：16,702円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 1.4% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2026年1月13日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は下落しました

(下落要因)

- ・ 保有している債券の価格下落。
- ・ インドルピーの対円での下落。

1 万口当たりの費用明細

(2026年1月14日～2026年7月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	135	0.826	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(66)	(0.402)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(66)	(0.402)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.021)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.027	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.018)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(1)	(0.004)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(そ の 他 1)	(0)	(0.001)	信託管理事務に係る手数料およびインダの税務代理人に対する手数料等
合 計	139	0.853	
期中の平均基準価額は、16,380円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

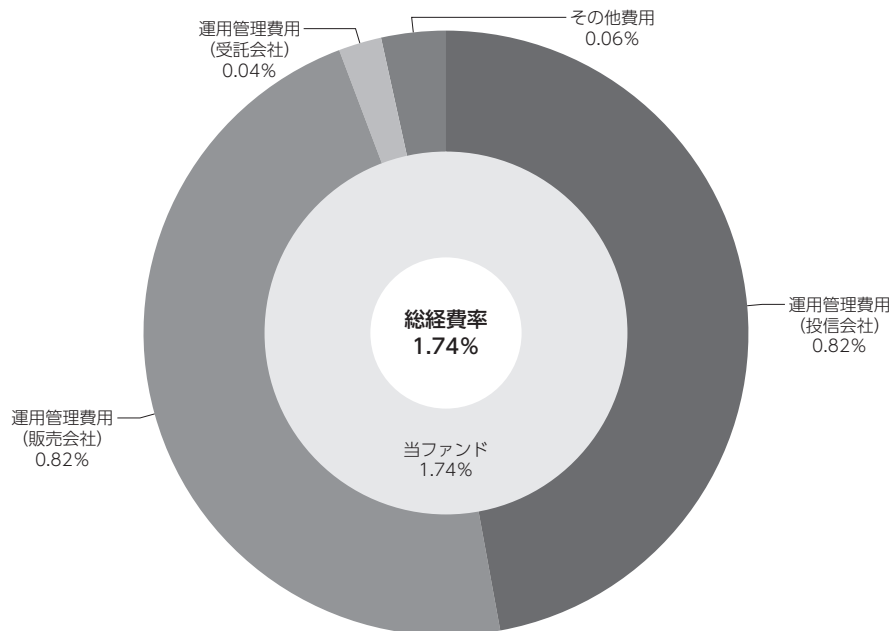
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.74%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2021年7月12日～2026年7月10日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2021年7月12日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2021年7月12日 決算日	2022年7月11日 決算日	2023年7月10日 決算日	2024年7月10日 決算日	2025年7月10日 決算日	2026年7月10日 決算日
基準価額 (円)	11,831	13,752	14,600	17,023	16,141	16,702
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	16.2	6.2	16.6	△ 5.2	3.5
純資産総額 (百万円)	10,153	9,824	11,774	19,485	17,391	14,087

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

投資環境について

インド債券市場

インド10年国債利回りは上昇（価格は下落）しました。

当（作成）期初は、国債供給増加への懸念や主要債券指数への組入れ延期などが材料視されたものの、インド準備銀行（RBI、中央銀行）による国債買入れや流動性供給策が下支えとなり、利回りは比較的安定して推移しました。その後、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の上昇や、それに伴うインフレ・財政悪化懸念を背景に、利回りは2026年3月にかけて上昇しました。一時的に低下した後も、インドルピー安やインフレ圧力の高まりを受けた金融引き締め観測から再び上昇しました。当（作成）期末にかけては、RBIによる政策金利の据え置きや、外国人投資家による債券市場への資金流入が好感され、利回りは低下に転じました。社債市場では、対国債スプレッドは概ね安定的に推移しました。

為替市場

インドルピーは、対米ドル、対円で下落しました。

中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の上昇を背景に、インドの貿易収支や燃料補助金拡大による財政収支の悪化懸念が下押し材料となりました。また、外国人投資家による資金流入の鈍化や、世界的なドル需要の高まりも重石となり、インドルピーは対米ドルで軟調に推移しました。一方、円も日米金利差の高止まりなどを背景に、対米ドルをはじめとする主要通貨に対して下落しましたが、インドルピーの下落率がこれを上回ったことから、対円でも下落しました。

ポートフォリオについて

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）／（年2回決算型）

イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてインドの公益およびインフラ関連の債券に投資しました。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド

主としてインドの公益およびインフラ関連の債券に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行いました。マクロ経済分析および金利分析に加え、個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選択により、運用を行いました。

当（作成）期、デュレーションは長期化しました。残存期間の長い国債と短期社債の保有比率を戦術的に調整することで、状況に応じてデュレーションを調整しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(毎月決算型)

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第131期	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期
	2026年1月14日～ 2026年2月10日	2026年2月11日～ 2026年3月10日	2026年3月11日～ 2026年4月10日	2026年4月11日～ 2026年5月11日	2026年5月12日～ 2026年6月10日	2026年6月11日～ 2026年7月10日
当期分配金	45	45	45	45	45	45
(対基準価額比率)	0.510%	0.510%	0.511%	0.533%	0.528%	0.518%
当期の収益	32	32	35	35	43	45
当期の収益以外	12	12	9	9	1	－
翌期繰越分配対象額	1,598	1,587	1,578	1,569	1,568	1,571

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) ー印は該当がないことを示しています。

(年2回決算型)

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第23期
	2026年1月14日～ 2026年7月10日
当期分配金	－
(対基準価額比率)	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	9,337

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) ー印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）／（年2回決算型）

引き続きイーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券を高位に組み入れることにより、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド

インド債券市場に対して引き続き前向きな見方を維持しています。原油価格の落ち着きや海外投資家による資金流入拡大は、インドのマクロ経済環境および債券市場を支える要因になると考えています。また、インド国債の投資環境改善を目的とした各種制度変更や主要債券指数への今後の組入れ期待を背景に、海外資金の流入が継続することが期待されます。一方で、足元では国債・社債ともに利回り低下が進んでいることから、今後は市場環境を見極めながら機動的な運用を行う方針です。引き続き、発行企業の信用度や市場での流動性を重視しつつ、個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選定により、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行って参ります。

お知らせ

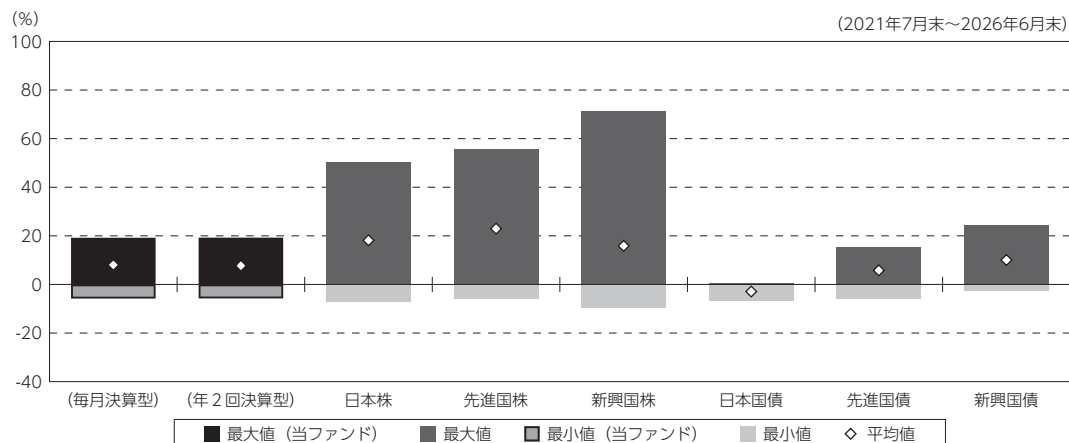
2026年4月1日付で一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会が統合し、「一般社団法人資産運用業協会」となりましたので、投資信託約款に所要の変更を行いました。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	(毎月決算型) 無期限 (2015年2月10日設定) (年2回決算型) 無期限 (2015年4月10日設定)	
運 用 方 針	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてインドの公益およびインフラ関連の債券（以下「公益インフラ債券」）に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド (毎月決算型)／(年2回決算型)	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	インドの公益インフラ債券を主要投資対象とします。
運 用 方 法	イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド (毎月決算型)／(年2回決算型)	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 ・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
分 配 方 針	(毎月決算型) 原則として毎月10日（休業日の場合は翌営業日） (年2回決算型) 原則として、毎年1月10日および7月10日（休業日の場合は翌営業日） 各ファンドの毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	(毎月決算型)	(年2回決算型)	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	19.2	19.3	50.5	55.7	71.2	0.6	15.4	24.5
最小値	△ 5.8	△ 5.8	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7
平均値	7.7	7.7	18.2	23.0	15.9	△ 2.9	5.9	10.0

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2021年7月から2026年6月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：配当込みTOPIX

先進国株：MSCI－KOKUSAIインデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA－BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

ファンドデータ

(毎月決算型)

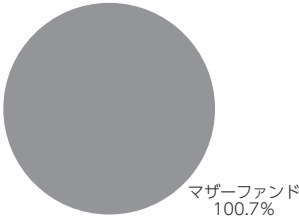
当ファンドの組入資産の内容

○組入上位ファンド

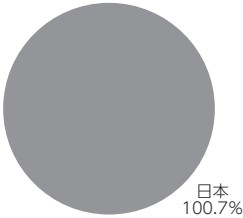
銘柄名	第136期末
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	% 100.7
組入銘柄数	1銘柄

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

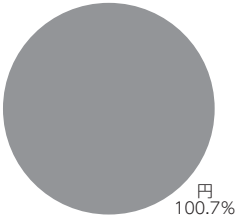
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。
(注) 国別配分につきましては発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

純資産等

項 目	第131期末	第132期末	第133期末	第134期末	第135期末	第136期末
	2026年 2月10日	2026年 3月10日	2026年 4月10日	2026年 5月11日	2026年 6月10日	2026年 7月10日
純 資 産 総 額	37,003,595,254円	37,061,499,324円	36,624,438,121円	34,696,333,330円	34,391,823,130円	34,055,014,160円
受 益 権 総 口 数	42,158,492,477口	42,253,280,578口	41,808,567,113口	41,322,085,779口	40,597,309,910口	39,441,065,984口
1万口当たり基準価額	8,777円	8,771円	8,760円	8,397円	8,471円	8,634円

(注) 当作成期間（第131期～第136期）中における追加設定元本額は2,296,653,643円、同解約元本額は5,490,500,181円です。

ファンドデータ

(年2回決算型)

当ファンドの組入資産の内容

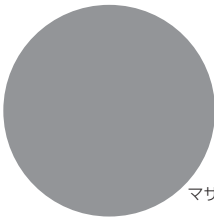
○組入上位ファンド

銘柄名	第23期末
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	% 100.9
組入銘柄数	1銘柄

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

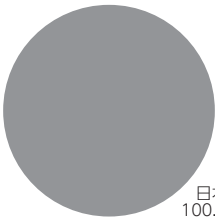
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

○資産別配分



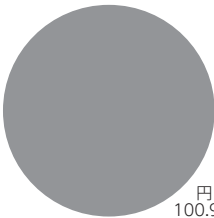
マザーファンド
100.9%

○国別配分



日本
100.9%

○通貨別配分



円
100.9%

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

純資産等

項目	第23期末
	2026年7月10日
純資産総額	14,087,359,098円
受益権総口数	8,434,773,268口
1万口当たり基準価額	16,702円

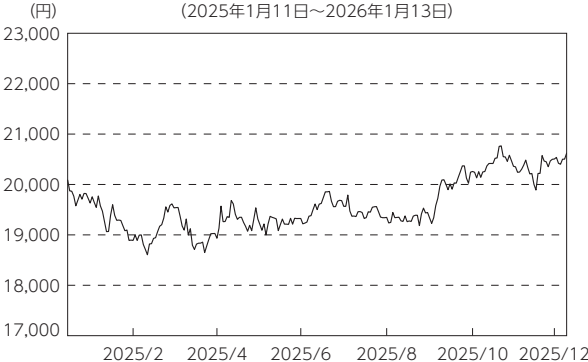
(注) 当期中における追加設定元本額は276,410,239円、同解約元本額は2,077,269,902円です。

組入上位ファンドの概要

イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド

【基準価額の推移】

(2025年1月11日～2026年1月13日)



【1万口当たりの費用明細】

(2025年1月11日～2026年1月13日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) そ の 他 費 用	7	0.038
(保 管 費 用)	(6)	(0.030)
(そ の 他 1)	(1)	(0.007)
(そ の 他 2)	(0)	(0.000)
合 計	7	0.038

期中の平均基準価額は、19,603円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

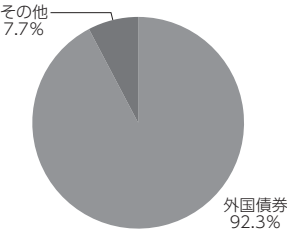
【組入上位 10 銘柄】

(2026年1月13日現在)

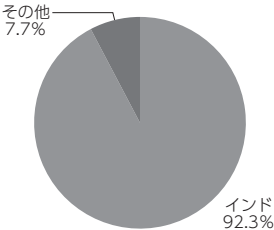
	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比率
					%
1	インド国債 7.09% 2054/8/5	国債	インドルピー	インド	7.6
2	全国農業農村開発銀行 7.8% 2027/3/15	特殊債	インドルピー	インド	4.8
3	インド国債 7.34% 2064/4/22	国債	インドルピー	インド	4.7
4	HDFC銀行 7.8% 2033/5/3	社債	インドルピー	インド	3.9
5	インド国債 6.68% 2040/7/7	国債	インドルピー	インド	3.8
6	LICハウジングファイナンス 7.61% 2034/8/29	社債	インドルピー	インド	3.6
7	チョラマンダラムI&F 9.05% 2032/3/6	社債	インドルピー	インド	3.2
8	シュリラム・ファイナンス 8.75% 2026/10/3	社債	インドルピー	インド	3.2
9	JMファイナンシャル・プロダクツ 8.92% 2026/11/16	社債	インドルピー	インド	3.2
10	DLFサイバーシティ・デベロッパーズ 6.92% 2028/7/28	社債	インドルピー	インド	3.1
組入銘柄数			53銘柄		

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
(注) 国(地域)につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

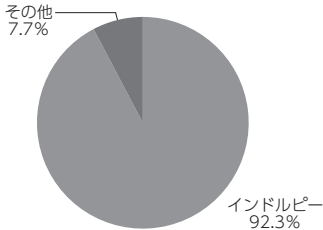
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
(注) 国別配分につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○配当込みTOPIX

配当込みTOPIXは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、配当込みTOPIXの指数値及び同指数に係る標章又は商標は、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社の知的財産です。

○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。